

リサちゃん通信 32号

伊勢リサイクルプラザ
伊勢市西豊浜町653番地
TEL/FAX 0596-38-2800
http://www.iserisaikuru.jp
Email:eco@iserisaikuru.jp
平成25年4月18日発行

伊勢リサイクルプラザは 平成18年「もったいない宣言」をしました！！



ノーベル平和賞を受賞した、ワシントン・マーティン(ケニア環境副大臣)が、2005年初来日した時の言葉です。

“日本には3Rを一言で言い表す「もったいない」という素晴らしい言葉があります。

世界中の人々誰もが対象で、地球を破壊に追い込む深刻な問題を減らすために、資源の無駄遣いをなくし、使えるものは再利用し、そのできない物はリサイクルするしかありません。

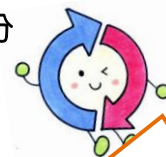
「もったいない精神」は、健康的で美しい地球を次世代へつなげるために不可欠です。この言葉は、3R精神を心の奥深くで精神的に支えてくれるから、国際語にしようと運動を始められ、誰もが知るようになりました。

「燃やすごみに、もったいない物を入れていませんか？！
粗大ごみに、もったいない物を出していませんか？！」

今、私たちは、日々の生活がこれでいいのかを見直し、みんなで一緒に「もったいない！」運動を引き続き提唱し、実行しようではありませんか。

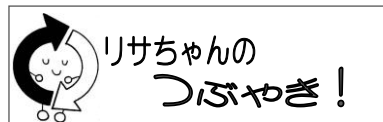
可燃ごみが多い、焼却炉は 悲鳴！ 「どうなってんの？ 私たちの出すゴミ！」

と き：平成25年5月18日(土) 13時30分～15時00分
と ころ：伊勢リサイクルプラザ
講 演：ごみ処理の現状と課題 ・ 清掃工場見学
講 師：伊勢広域環境組合 職員：櫻田・伊藤
参 加 費：無料 申し込み：不要
問い合わせ：0596-38-2800 伊勢リサイクルプラザ



参加者に お好きな
リユース衣料品 一人
一品 プレゼント！！

平成8年より使い始めた現在の焼却炉は、5年間に機械の取り替え工事費約43億円かけました。更に、毎年約6億5千万円以上処理費用がかかっています。焼却炉は24時間フル回転！土曜・日曜・祝日(正月だけ休み)も燃やし続けて、やっと収集したごみが片付くのです。ここ数年ゴミが増え続けています。焼却炉の痛みも激しく、費用もたくさんかかります。この大きな課題を考えるために、ごみ処理の現状を見て、聞いて、語りあいましょう。



リサちゃんの
つぶやき！

生ごみを出すときは
ぎゅーと しぼってね！



ぎゅーっとひと絞り
ウン万円

平成25年度「もったいない教室」の予定表

お申し込みは
0596-38-2800

講座名	4月	5月	6月
和服のリフォーム教室	広報4月号で平成25年度の受講者を募集しています		
手芸小物教室	13日(土) 28日(日)	11日(土) 26日(日)	8日(土) 23日(日)
布草履作り		12日(日)	
古布で小物作り	20日(土)	18日(土)	
EM ぼかし作り	27日(土)	25日(土)	22日(土)
コサージュ作り	21日(日)		
牛乳パックで椅子作り		19日(日)	
廃食油でキャトル			30日(日)

上記の教室は、いせトピアの「まなびのパスポート」の対象になります。



使用済み牛乳パックで椅子作り



伊勢文化協会小俣支部のカルチャー教室へ通う方で、和室で正座ができない方たちに、使用済み牛乳パックのリサイクル椅子を作ってほしいとの要請があり、リサイクルプラザの運営委員でもある小俣町消費生活学級で活躍の皆さんが、それにお応えしようと15枚の椅子を作りました。

一個の椅子を作るには、使用済み牛乳パックを48枚使います。使用済み牛乳パックがたくさん必要です。

伊勢リサイクルプラザへお越しの時に、持ってきてくださ〜い！！



ちょっと待て！ 捨てる前にもう一度！

とことん利用！

第19回環境学習会 3月16日開催

「どうしたらゴミを減らすことができるか？」
ワークショップは、この問いかけでスタート。

環境学習情報センターからお迎えした木村講師の巧みな誘導で、30名余の参加者が6つのテーブルを囲み、ごみ減量への想いを「言いたい放談、聞きたい放談」。

小さな紙切れに書きたい放題！テーブルに広げられた模造紙上で紙片は整理され、参加者全員が各テーブルを回り、他の人の思いを自分も取り入れることのできた有意義な学習会でした。



もう一度！

- ① 修理出来ないか
 - ② 無駄にしないか
 - ③ 少しでも長く使う
- 物の命を違う命につないでとことん利用(リサイクル)命を大切に…

これぞ“もったいない精神”です。